

大阪市立 城東中学校



郵便番号 536-0022
 所在地 城東区永田3丁目3-44
 電話番号 (06) 6963-0811
 FAX (06) 6963-0510
 校長名 畠平 亨一



【学校の概要】 地下鉄中央線「深江橋」駅より北西に徒歩約7分に位置しており、諏訪・東中浜小学校が校区となります。1年生5学級、2年生6学級、3年生5学級、特別支援学級4クラスの計20学級の大規模校です。

【教育目標等】 「「自他の生命を大切にし、自ら学び行動し、仲間と協調できる生徒を育成する。」を目標に、保護者・地域の方々との連携を大切に、教育活動を推進しております。

【沿革等】 本校は昭和30(1955)年4月、放出・城陽両中学校の分校から独立し、「城東第5中学校」として創立されました。そして、昭和55(1980)年4月、「城東中学校」と校名を変更し現在に至っております。

運営に関する計画（中期目標）

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまりを守っていますか」・「あなたの学級では、学級会などの時間に友だち同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか」・「自分には良いところがあると思いますか」の各項目について、肯定的に答える生徒の割合を向上させる。
- 教育コミュニティづくりの推進（学校元気アップと学校協議会の連携、小中連携の強化等）
- 防災・減災教育の推進（防災教育の継続発展および、主体的に動ける防災意識の向上等）
- 不登校や児童虐待などの課題への対応（関係機関との連携強化、個々の状況に適した支援等）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進
- 放課後を活用した学習機会の支援（土曜塾や放課後自主学習会参加促進等）
- 多文化共生教育の推進（自他の違いを認め、尊重し合う態度の育成等）
- 国際社会において生き抜く力の育成（英検3級程度以上の英語力を有する生徒割合を増加等）

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和元年度調査結果の概要】

平均正答率（%）

	国語	数学	英語
本校	68	52	54

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

基礎的・基本的な知識の定着については、十分な成果とまでには至らず、国語・数学・英語とも大阪府の平均を2～5ポイントほど下回る結果であった。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

漢字・計算の小テスト等の反復練習を取り組み、基礎的な知識の定着に努めてきた。しかし、十分な成果までには至っていない。今後も、基礎的・基本的な知識の定着に加え、思考・判断・表現の能力を育成し、「授業がわかる喜び」「達成感・成就感」を持たせ、「自ら学ぶ態度」の向上を図っていききたい。

全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果から明らかになった現状

【令和元年度調査結果の概要】

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横這ひ	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
男子	28.29	26.87	50.01	51.44	77.49	8.14	195.63	18.68	41.38
女子	22.08	24.41	50.58	45.92	53.78	8.85	170.34	11.80	49.41

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

男子は体力合計点において、大阪市・全国平均を少し上回ったが、女子は下回った。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

普段の授業で補強運動や体力づくりを行っているが、その成果が見られる年と、そうでない年がある。継続して体力向上を目指すとともに、真面目に取り組むことや、日々の授業での規律を徹底し、あきらめずに取り組む姿勢を、今後も生徒一人ひとりに定着させていくことが課題である。

学校のアピールポイント等

～変化に対応していく城東中学校～

城東中学校の前身である、城東第五中学校が創立されてから67年。城東中学校の校訓である「清新潑刺・勤勉力行・自主協調」の精神のもと、変化していく社会の中心的な担い手となる、「自他の生命を大切にし、自ら学び行動し、仲間と協調できる生徒」の育成に努めています。

開校当時の城東区は、まだ田園が広がっていました。本校の周りを見渡すと、東には生駒山、西には大坂城を仰ぎ見る位置にありました。そんな立地から、城東中学校の校歌が誕生したのですが、実はその歌詞の中には変化に対応することが、すでに考えられていたのです。「われらこそりてここに立つ 城東第五中学校」という歌詞があります。将来、城東第五中学校の名称が変わったとき、どうすればいいのか、ということが作詞された時から考えられていました。校歌の作詞をされた土岐善麿先生は、校名の上に「誇れ」という言葉を、その時には入れるようにと言われていたのです。

現在の校門に入ってすぐの左正面に、校歌の歌詞が刻まれた石碑があります。それをよく見ると、城東第五中学校の文字が消され、その上に城東中学校と刻まれているのがわかります。先の変化を読み、柔軟に対応できるよう考えられていたのです。

校歌にみられる変化に対応する精神も、脈々と現在の城東中学校に引き継がれています。中学生という一番大切な時期に、世の中の変化に対し柔軟に対応するためには、何を学び何を習得するのか。これからの人生で、身につけておかななくてはならないこと。それは、次の3点に集約されると私たちは考えます。

1. 確かな学力を身につける

城東中学校では、確かな学力を生徒一人ひとりに身につけさせるため、複数の教師による授業展開を、国語・数学・英語の授業で行っています。

ほんの少し学ぶ意欲があれば、確実に学力が身につけられるよう、日々、指導方法の工夫改善を図っています。また、教師も生徒の学力が高められるよう、授業研究等を計画的に実施し、効果的な学習方法の研修をしています。

2. 体験を通して協調性の大切さを学ぶ

知識は、頭の中の理解だけでは十分ではありません。社会で実践できる行動力が大切になってきます。城東中学校では、理解だけでなく実践できる行動力を重視し、さまざまな体験を通して学ぶ機会を設けています。各学年に応じた課題を見据えての校外学習(1年生での一泊移住、2年生でのウォークラリー、3年生での修学旅行) また、1年生での福祉体験、2年生での職場体験学習、全学年による運動会・文化祭、各学年による取組み等。これらの体験を通して、協調性の大切さを理解し、身につけてもらいたいと取り組んでいます。

3. 規範意識を高める

学校という集団の中では、多くの仲間と学んでいく上で、ルールを守るということが最も重要となります。城東中学校では、この点を重視し生活指導と連動した取り組みを進めています。生徒自身も自覚を持って行動できるよう、ご家庭とも綿密に連絡を取り合う体制の下、日々の指導を粘り強く進めています。

生徒一人ひとりが、自分を大切に、相手を尊重した行動がとれるよう、規範意識とともに自尊感情を高めていく指導を進めています。

「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉があります。中学校の3年間でこの行動を常に意識し、将来社会に出たときに周りから信用される人になり、また、城東中学校の生徒でよかったと思える学校を目指したいと考えております。

※今年度の体験学習は新型コロナウイルス感染症対応により、変更されております。

卒業後の主な進路

【私立】

(9名)産大附属(7名)常翔学園(6名)大阪学芸、夕陽丘学園(4名)敬愛(3名)近大附属、大阪、関西福祉科学大(2名)樟蔭、成蹊女子、上宮、金光大阪、大商学園、大商大、金光藤蔭、ルネサンス大阪(通信)、ヒューマンキャンパス(通信)(その他 32名)四天王寺、帝塚山学院、プール学院、信愛学院、城南学園、梅花 など

【国公立】

(11名)成城(8名)市岡(5名)旭、花園、布施北(4名)東、淀川工科、港南造形、布施工科(3名)高津、清水谷、夕陽丘、都島工業、桜宮、港、汎愛、鶴見商業、城東工科、桃谷(通信)(2名)大手前、今宮、布施、芦間、咲くやこの花、西、中央(その他 15名)教育大附属平野、住吉、阿倍野、扇町総合、柴島 など

【専修学校】

関西インターナショナルハイスクール

【その他】 1名

【卒業者数】 201名